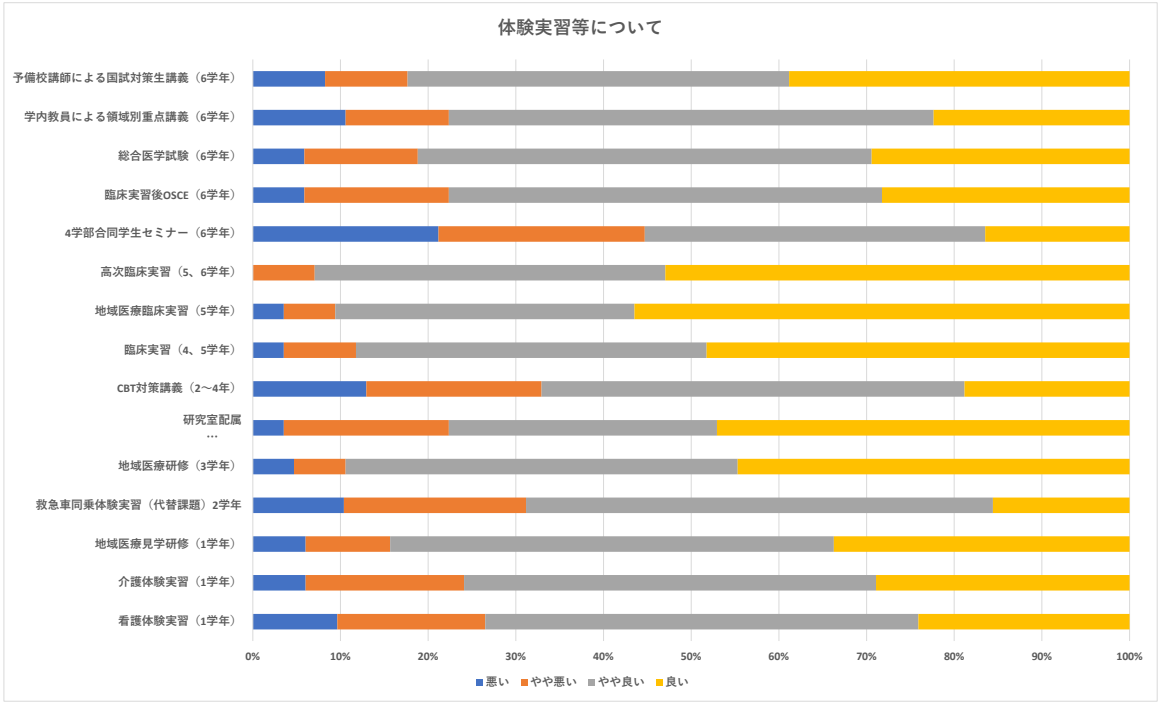


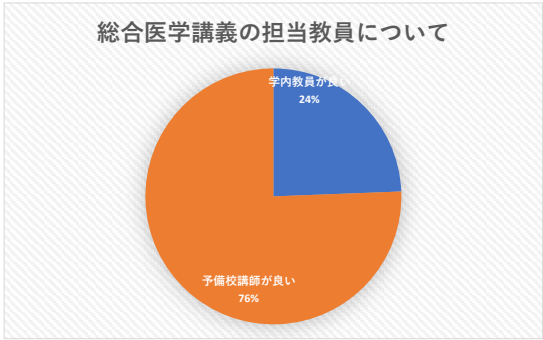
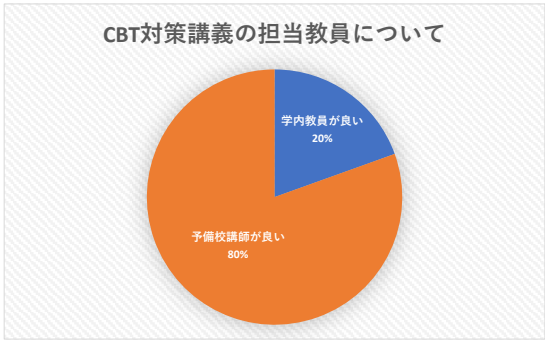
令和6（2024）年度卒業時アンケート【医学部】

調査対象：令和6年度医学部卒業生（120名）
回答率：83.3%

本学における体験実習等についての内容について、4段階評価（1：悪～4：良）してください。



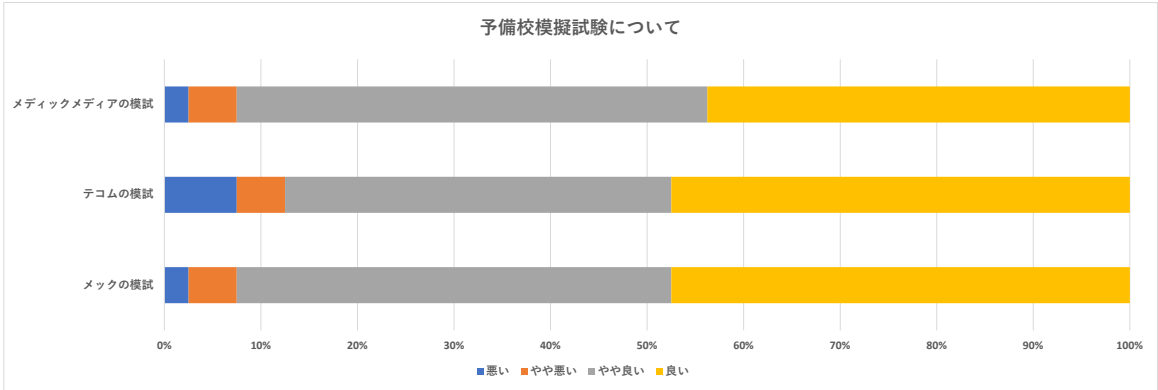
CBT対策講義および総合医学講義（学内教員による領域別重点講義／予備校による国試対策重点講義）担当教員について、ご意見をお聞かせください。



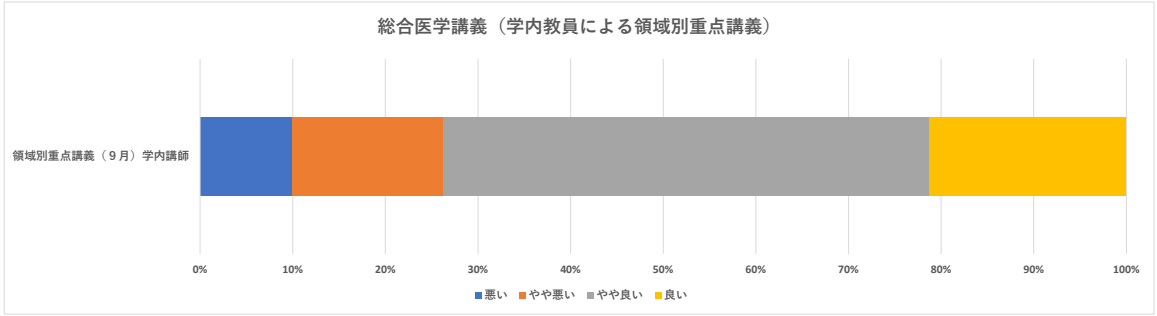
予備校模擬試験についてお聞かせください。

5年生：春メック、秋メック

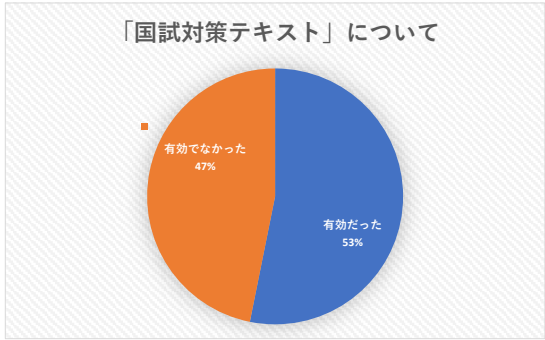
6年生：春メック、メディックメディア夏模試、2テコ、冬メック、メディックメディア模試（直前）、4テコの実施はいかがでしたか。4段階評価（1：悪 ～ 4：良）してください。



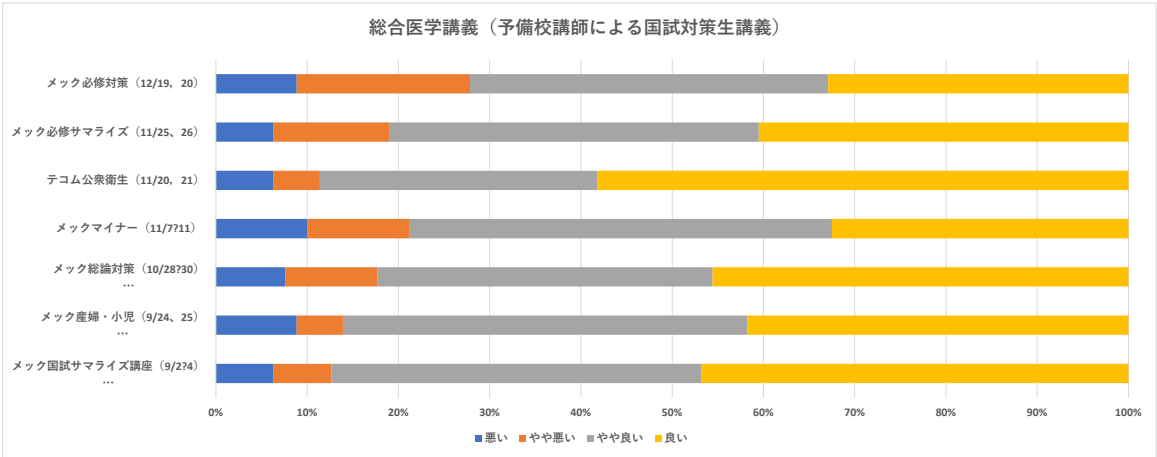
総合医学講義（学内教員による領域別重点講義）について、4段階評価（1：悪 ～ 4：良）してください。



総合医学講義（学内教員による領域別重点講義）について、「国試対策テキスト」を使用テキストとしていましたが有効でしたか。

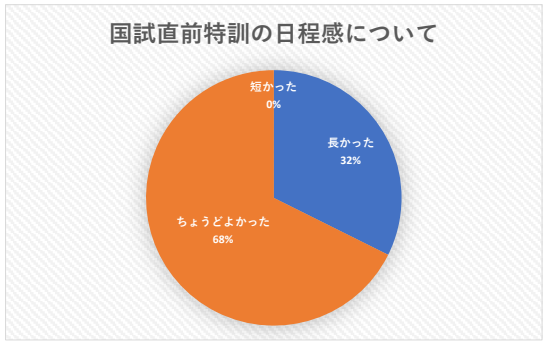


総合医学講義（予備校講師による国試対策生講義）について、4段階評価（1：悪 ～ 4：良）してください。

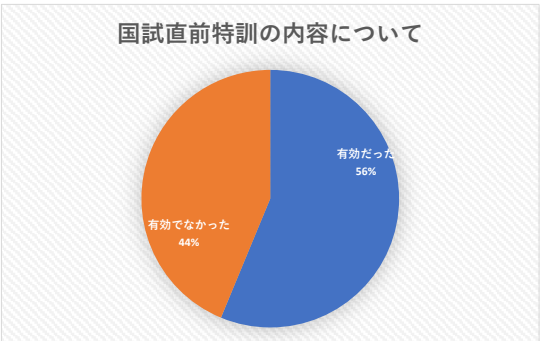


≪ 1/24～1/28 国試直前特訓に参加した学生のみ回答 ≫
合宿参加人数：40名

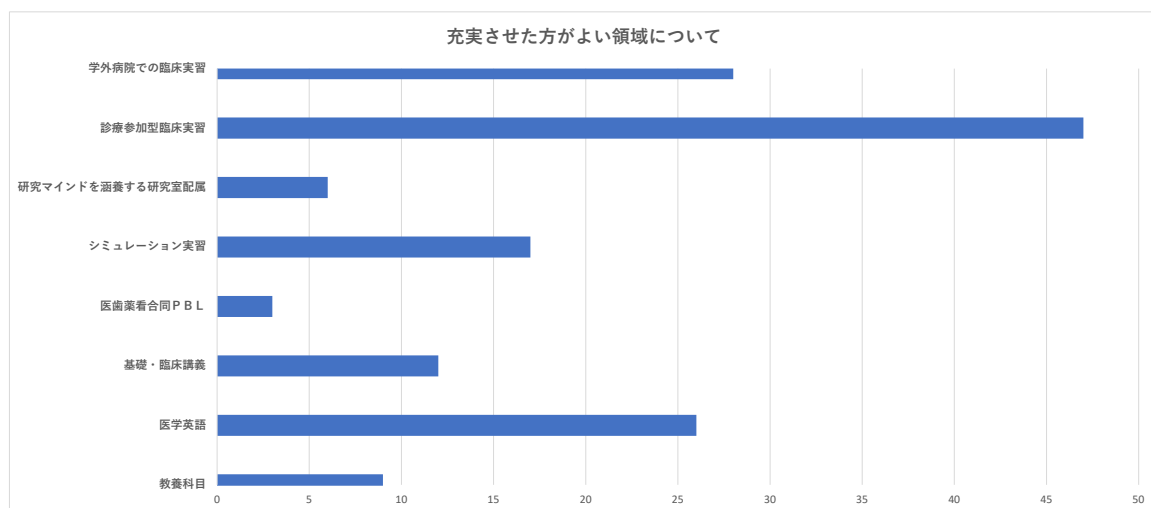
国試直前特訓の日程感はいかがでしたか。



国試直前特訓の内容は、国試対策に有効でしたか。



充実させた方がよい領域を選択してください。（複数回答可）



本学では6年間の学修によって学生が到達すべき目標を卒業時コンピテンシーとして定めています（添付ファイルを参照）。以下の項目の目標について、自分がどこまで到達できたかを5段階で自己評価してください。

	「できなかった」	「あまりできなかった」	「わからない」	「まあまあできた」	「できた」
I-1 倫理観医療人として生命倫理に基づき、個人の尊厳・福利を第一とし、社会・人類への利益を最大化する科学的方策を提案できる。	2	2	6	23	48
I-2 利益相反利益相反を開示できる。	2	2	5	24	45
I-3 守秘義務守秘義務を順守し、個人情報保護を保護できる。	2	1	4	15	56
II-1 謙虚な姿勢と自己規制a主的人間性に基づき、自身を振り返ることにより行動改善ができる。	2	1	5	22	49
II-1 謙虚な姿勢と自己規制b他者からの助言・指導を真摯に受け止め、受け入れることができ、後輩に対しては適切な助言ができる。	2	1	5	22	49
II-2 利他的・共感的態度患者の苦痛・心情に配慮し、患者および家族に対し、利他的・共感的な態度で行動できる。	2	1	3	25	48
II-3 臨床経験・研究成果の発表経験した症例や研究について指導医と共に解析および考察し、それらを社会に発信することができる。	1	4	7	27	40
II-2 生涯学習修医師として、進歩し続ける医療における最新の知識を収集することができる。	2	2	5	25	45
II-2 後進の育成「誠の人間たる」態度を身につけることの必要性を後輩に説明できる。	2	3	4	28	42
III-1 感染対策感染対策について理解し、予防策を実践できる。	1	2	4	24	48
III-2 安全管理a若手医科大学の医療安全マニュアルを理解し、実践できる。	1	2	4	31	41
III-2 安全管理b医療事故を認識し、発生時に必要な対応を列挙できる。	1	2	4	28	44
III-2 安全管理c医療安全規範についての知識を持ち、患者・医療スタッフの安全を守るための対応ができる。	1	2	4	26	46
III-3 医療の責務が実施している診療技能や安全管理について振り返り、改善に努めることができる。	1	3	5	21	49
IV-1 基礎医学a人体の正常な構造・機能とその成立・維持に関わる機構を説明できる。	1	3	6	32	37
IV-1 基礎医学b病気の発症と進展に関わる因子・機構を説明できる。	1	3	6	32	37
IV-1 基礎医学cライフサイクル（発達、成長、加齢、死）を説明できる。	1	3	6	31	38
IV-2 社会医学a指導の下で個人・集団を対象とした予防活動に参加できる。	1	3	7	26	41
IV-2 社会医学b医療の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を意識して行動できる。	1	3	6	29	40
IV-3 疫学、統計学生物統計学や疫学に関する基本的知識を用いて、医学情報を説明できる。	1	3	8	32	35
IV-4 行動科学人間の生涯にわたる行動と心理の特性を理解し、適切な対応ができる。	1	3	5	31	39
IV-5 医学英語英語の医療文書や医学論文を読み、その内容を概説できる。	1	5	7	36	30
IV-6 臨床医学適切に診療を行い、EBMに基づいた臨床推論により、適切な診断ができ、治療方針を提案できる。	1	3	4	30	39
IV-7 リサーチマインド疑問点、問題点をピックアップし、それを解決するための研究計画の立案・実施に必要な科学的情報を収集し、それを基	1	3	6	29	40
V-1 医療面接病歴を聴取し、情報を取捨選択し、整理できる。	1	2	7	29	40
V-2 臨床技能患者に対して、診断に必要な基本的身体診察や基本的臨床手技を安全に実践できる。	1	3	6	30	39
V-3 問題解決収集した病歴・身体所見より臨床推論ができ、頻度の高い、または、緊急性や重症度の高い疾患・病態の診断を行い、EBMに基づ	1	3	5	30	40
V-4 文書作成型診療記録形式で電子カルテを正確に記載できる。	1	3	7	32	36
V-4 文書作成b診断書・各種処方箋を計画できる。	1	3	11	34	30
V-5 プレゼンテーションa病歴についての要約を作成し、プレゼンテーションができる。	1	2	6	36	34
V-5 プレゼンテーションb病状説明や患者教育に参加できる。	1	2	7	35	34
V-6 救急医療緊急を要する疾患・外傷の病態を理解し、医療チームの一員として救急医療の場で介助できる。	1	2	8	34	34
V-7 患者への配慮患者の苦痛・心情に配慮し、患者や家族に対する誠実で適切な支援を行うことができる。	1	3	5	28	42
VI-1 患者医師関係患者や家族に関わる身体的、精神的、社会的背景や問題を理解し、良好な人間関係を築くことができる。	1	3	6	26	43
VI-2 コミュニケーションスキルaコミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解し、実践できる。	1	3	6	28	41
VI-2 コミュニケーションb指導医・医療スタッフに対し、患者への説明を想定したわかりやすい病状説明を行うことができる。	1	3	6	27	42
VI-3 インフォームドコンセントインフォームド・コンセントの必要性を理解した上で、参加もしくは一部実践できる。	1	3	5	28	41
VI-4 チーム医療a医師としての誠実さや公正性を示し、患者・家族を含めた医療チームの一員であることを自覚し、診療に参加できる。	1	2	6	29	41
VI-4 チーム医療b上級医、同級生や医療スタッフ間で、抽出された問題点について話し合い、共に学び合うことができる。	1	2	7	26	42
VI-4 チーム医療c多職種で構成されるカンファレンスに参加し、担当患者の要約を報告できる。	1	2	6	27	43
VI-4 チーム医療d医療チーム内で情報交換を行い、情報の共有や説明、伝達ができる。	1	1	7	28	42
VII-1 社会保障a社会保障の理念および制度とそれに携わる職種について説明できる。	1	2	7	29	40
VII-1 社会保障b医療関連法規を概説し、医師の義務を列挙できる。	1	2	7	30	39
VII-2 国際貢献医療に関わる国際協力的重要性・仕組みを説明できる。	1	1	10	30	37
VIII-3 保険診療・医療経済各種保険診療と診療報酬制度を説明できる。	1	2	7	31	38
VIII-1 地域医療地域包括ケアの概念および地域医療および医師偏在の現状を概説できる。	1	1	6	31	40
VIII-2 健康増進と予防医学a社会と健康・疾病の関係および予防医学の概念を説明できる。	1	1	6	30	40
VIII-2 健康増進と予防医学b健康増進に係る各機関の役割を説明できる。	1	2	6	29	41
VIII-3 災害医療大規模災害での医療の特殊性とそれに関与する組織（DMAT等）について説明できる。	1	2	7	32	37